



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

終戦記念日を前に 街頭から平和を訴える

消費税増税勢力には痛打を！

日本共産党
市議団

終戦の日を前にした8月14日、日本共産党市議団は、磯原サンユー前(市内4ヶ所)で街頭からの訴えに立ちました。次期衆院選において茨城5区から立候補すると鈴木やす子市議から紹介された福田明市議は、次のように訴えました。

「明日は67回目の終戦記念日です。日本共産党は命をかけて戦争反対をつらぬいた政党として、二度と戦争のない平和な社会をつくるために、ひきつづき全力をつくします。」

私は、前回の選挙で掲げた約束を裏切る民主党政権に国民のいのちと暮らしを託せないと感じ、衆院選に立候補を決意しました。

消費税の増税は公約違反以外の何ものでもありません。国民の所得が減っているなかで、消費税10%、13兆円の負担増をかぶせたら、

国民の暮らしは破壊され、中小零細企業・業者の経営は成り立ちません。景気をどん底に突き落とし、財政破綻をよりいっそう深刻にするだけです。

しかし増税の実施は2年後の14年4月からです。この間には、衆院選挙と参院選挙の2回の国政選挙があります。民主・自民・公明の増税連合に、きびしい審判を下しましょう。

消費税に頼らずに社会保障を充実させ、財政危機を打開する具体的な提言を示している日本共産党を伸ばすことこそ、消費税ストッ



戦没者慰霊

(8/15、市民ふれあいセンター)

中郷町のヨークベニマル前では、猛暑の中、熱心に演説を聞く若者の姿が見られ、また「ぜひ、がんばってほしい」と女性から飲物の差し入れがありました。



街頭から訴える衆院5区予定候補の福田明市議と、鈴木やす子市議 (8/14、磯原町マルト前)

北茨城市の 学校給食

より精密な装置で 放射能の検査

県内2市
7月から

市の学校給食センターでは、いち早く丸ごと一食分の放射能検査を開始し、この4月からは事前検査に取り組んでいます。

さらに7月から、より精密な検査がはじまりました。

国からの委託の形で県が実施する検査で、福島県では全市町村、それ以外は県ご

とに2市町村、茨城では北茨城市とつくば市が対象となっています。

ゲルマニウム半導体検出器という装置によって放射

性核種を特定・分析するものです。その検出下限値は0.48〜0.59ベクレル/kgとされ、これまでの限界値10ベクレルと比べると一

じゃんがらと盆船流し



じゃんがら(念仏踊り)はある資料によれば「福島県いわき市に伝わる郷土芸能で、鉦、太鼓を打ち鳴らしながら新盆を迎えた家などを供養して回る踊念仏の一種である。夏の風物詩として知られ、いわき市の無形民俗文化財に指定されている」とあります。これが、南は茨城県の大津町にも伝わっています。



進水を待つ盆船を拝見。故人の生前を偲ぶ装飾に心打たれます。(大津町北町の松本さん方にて)

ケタ以上精密です。

そして、現在まで「検出せず」という結果で、国の定める基準値に照らしても、安全な給食が提供されていると県では説明しています。

検査は、一週間分の給食をまとめて検査されます。

年度内28週分の実施が予定されています。

また、他

国の放射能基準値
(ベクレル/kg)

飲料水	10
牛乳	50
一般食品	100

自治体では土浦など5市で1学期に1回、計3回の検査がおこなわれます。